

タイトル	郷土を愛する子ども育成をめざして ー 地域と一体となった環境づくりの活動 ー
名称（学校・地域）	天龍村立 天龍小学校
日時・場所	通年の取組 ・ 村内各所
ホームページアドレス	



### 取組のねらい

子どもたちが地域に出て、地域の自然・環境や人々にふれながら環境美化や自然保護の活動を行うことを通して、豊かな自然を大切にしようとする心や実践力を育てていきたいと考えています。

また、このような活動を地域の皆様と一緒にを行うことを通して、『ふるさと天龍』を知り、愛する心を育てていってほしいと願っています。

## 天龍ピカピカ大作戦（環境美化活動）

### 1 活動の趣旨と経緯

平成11年、「豊かな自然の残っている天龍村からゴミをなくしたい」という3年生の願いから始まった地域の道路周辺のゴミ拾いの活動を、平成12年度からは全校で行うようになりました。

以来、11年間、継続して活動してきており、今では村の多くの皆さんと一緒に活動を行っています。



### 2 活動の様子

- 年に2回（春と秋）に、4つのグループに分かれて、村内の主要道路県道1号線と国道418号線、平岡地区内の村道を中心にゴミ拾いを行っています。
- 小学校で計画を立てますが、村役場住民課、村教育委員会、下伊那南部建設事務所が全面的なバックアップをしてくださり、今では、役場や下伊那南部建設事務所の皆様の他、地域の各団体や地域の皆さんと一緒に活動しています。



## ブッポウソウの保護活動

### 1 活動の趣旨と経緯

平成9年に野鳥の調査研究をしていた4年生が、役場庁舎換気口に営巣するブッポウソウを発見し、保護活動を始めたことをきっかけに、平成11年度からは、みどりの少年団活動として、毎年、ブッポウソウ巣箱作りや巣箱架け等の活動を行っています。



### 2 活動の様子

- 毎年4月中旬に「野鳥の話聞く会」や巣箱づくりを行い、4月下旬に、前年度の巣箱を取り外し、新しい巣箱をかけています。
- 取り外した前年度の巣箱は、中の様子を観察・調査し、前年度の営巣状況について確認しています。
- 年がたつ毎に営巣数が増えてきています。絶滅危惧種である希少なブッポウソウが天龍村で繁殖を増やしてきていることから、村でもブッポウソウを『村鳥』に指定し、保護活動に力を入れてくれています。現在は、役場振興課林務係や天龍みどりの少年団育成会指導員の皆様、保護者の皆様等にご協力いただきながら、共に活動しています。

